

〔科目名〕 仏教の思想	〔単位数〕 4 単位	〔科目区分〕 教養
〔担当者〕 松本 知己 Matsumoto Tomomi	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業の前後 場所: 教室、廊下、非常勤講師控室など、どこでも。	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 仏教は、紀元前 5 世紀前後のインドに始まる宗教であるが、日本への伝来以降、社会の要請に伴って変容しながら独自の発達を遂げ、日本人の精神世界に大きな位置を占めてきた。本講義では、我々にとって「内なる他者」である仏教の思想史的理解を目的として、その基本構造と、展開の多様性を学ぶ。 前半は、インド仏教の歴史を概観し、仏教的思考の基本について解説する。後半は、仏教文献の漢訳をはじめ、中国人による受容の特質を確認する。その上で、各時代の仏教者の思想と実践を紹介しつつ、日本仏教の形成と展開の過程を明らかにしてゆく。随時、政治状況、文化事象との関連や、神道など他思想との交渉にも言及する。全体を通じて、日本人にとって仏教とは何であったか、そして何でありうるか、ということを理解し、現代に生きる私たちと宗教との関係を考察する契機にしたい。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 「仏教の思想」では、仏教を一つの思想として捉え、その成立と展開を学ぶ。古来より日本文化に溶け込んでいく仏教の思想的な側面を理解することは、自身のアイデンティティを確認することにもつながる。 経営学や経済学を学ぶという点では、経済的な活動は人間の営みに他ならないので、人間に対する理解が必須となる。宗教を含む思想は、人間の精神の基盤をなす。また、世界には様々なタイプの宗教、思想が存在し、人々との関わり方も様々である。日本の伝統的な思想の構造を理解し、歴史を知ることで、宗教的、思想的背景の異なる人々の思考様式を、より深く理解することができるだろう。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 最終目標 ・ 仏教思想の基本的な構造を理解する。 ・ 日本仏教の特質を、現代に生きる我々自身との関連で理解する。 中間目標 ・ インド・中国・日本における仏教の歴史的な推移を理解する。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 後方の席の受講者にも配慮して板書する。また、期末レポートの題目は、できる限り早めに告知する。その他、要望等については柔軟に対応するよう心がける。		
〔教科書〕 教科書は用いない。毎回資料を配付する。		
〔指定図書〕 高崎直道『仏教入門』(東京大学出版会、1983) 末木文美士『日本仏教史－思想史としてのアプローチ』(新潮文庫、1996)		
〔参考書〕 平川彰『インド・中国・日本仏教通史』〈新版〉(春秋社、2006) 蓑輪頭量編『事典 日本の仏教』(吉川弘文館、2014) その他、随時紹介する。		

〔前提科目〕 なし。	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 3分の2以上の出席を前提に、期末のレポート(60%)と平常点(40%。毎回提出してもらうリアクションペーパーのコメント、第9回及び第19回の授業中に実施する理解度の自己確認など)によって評価する。	
〔評価の基準及びスケール〕 A 80点以上 B 80点未満～70点以上 C 70点未満～60点以上 D 60点未満～50点以上 F 50点未満	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 仏教は世界宗教であり、歴史的にも実に多様に展開してきた。しかし思想としての基礎をふまえた上でなければ、その多様性を理解するのは困難である。予習は特に求めないが、毎回の講義後は、指定図書等の参考文献を用いて必ず復習してもらいたい。	
〔実務経歴〕 該当なし。	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): 総説 内 容: 授業の概要、評価基準等 教科書・指定図書
第2回	テーマ(何を学ぶか): 宗教類型論から見た仏教 内 容: 仏教、或いはインドの思想・宗教と、世界の諸宗教との比較 教科書・指定図書
第3回	テーマ(何を学ぶか): インドの宗教と思想① 内 容: インド宗教思想史の概観 教科書・指定図書
第4回	テーマ(何を学ぶか): インドの宗教と思想② 内 容: 人間観・世界観・実践論 教科書・指定図書
第5回	テーマ(何を学ぶか): 初期仏教 内 容: 釈迦の生涯とインド仏教の成立 教科書・指定図書 高崎直道『仏教入門』第一章
第6回	テーマ(何を学ぶか): 仏教の基礎① 内 容: 真理観(四聖諦、縁起) 教科書・指定図書 高崎直道『仏教入門』第三章

第7回	テーマ(何を学ぶか): 仏教の基礎② 内 容: 実践論(修行法と解脱への段階) 教科書・指定図書 高崎直道『仏教入門』第六章
第8回	テーマ(何を学ぶか): 仏教の基礎③ 内 容: 教団の構成と戒律の諸相 教科書・指定図書 高崎直道『仏教入門』第九章
第9回	テーマ(何を学ぶか): 部派仏教 内 容: 釈迦死後の教団分裂と諸部派の成立 なお、ここまでの講義内容につき理解度の自己確認を行う。 教科書・指定図書
第10回	テーマ(何を学ぶか): 部派仏教の教理 内 容: 有力部派である説一切有部の存在論 教科書・指定図書 高崎直道『仏教入門』第四章
第11回	テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の興隆 内 容: 思想運動としての大乘仏教、その成立と展開 教科書・指定図書
第12回	テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の教理1 内 容: 大乘經典の諸相 教科書・指定図書
第13回	テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の教理2 内 容: 大乘仏教の哲学的基盤としての「空」思想① 教科書・指定図書
第14回	テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の教理3 内 容: 大乘仏教の哲学的基盤としての「空」思想② 教科書・指定図書
第15回	テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の教理4 内 容: 「空」を体系化する唯識思想① 教科書・指定図書
第16回	テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の教理5 内 容: 「空」を体系化する唯識思想② 教科書・指定図書
第17回	テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の教理6 内 容: 多仏思想と浄土教 教科書・指定図書
第18回	テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の教理7 内 容: 仏教と現世利益、密教の教理と実践 教科書・指定図書
第19回	テーマ(何を学ぶか): 中国人と仏教 内 容: 儒教・道教などの中国思想と仏教の受容 なお、ここまでの講義につき理解度の自己確認を行う。 教科書・指定図書

第20回	テーマ(何を学ぶか): 中国仏教の特質 内 容: 中国人による仏教の体系化と取捨選択 教科書・指定図書
第21回	テーマ(何を学ぶか): 法華経と天台教学1 内 容: 天台教学の教理(五時八教) 教科書・指定図書
第22回	テーマ(何を学ぶか): 法華経と天台教学2 内 容: 天台教学の実践法(止観) 教科書・指定図書
第23回	テーマ(何を学ぶか): 日本仏教の特質1 内 容: 最澄の戒律観と空海の真言密教 教科書・指定図書 末木文美士『日本仏教史』第Ⅱ章
第24回	テーマ(何を学ぶか): 日本仏教の特質2 内 容: 国家権力と仏教 教科書・指定図書
第25回	テーマ(何を学ぶか): 日本仏教の特質3 内 容: 日本天台宗の教学にみる総合性 教科書・指定図書
第26回	テーマ(何を学ぶか): 日本仏教の特質4 内 容: 現実肯定思想と自然観 教科書・指定図書 末木文美士『日本仏教史』FEATURE 2
第27回	テーマ(何を学ぶか): 専修念仏1 内 容: 法然の浄土教思想の基本構造 教科書・指定図書 末木文美士『日本仏教史』第Ⅲ章
第28回	テーマ(何を学ぶか): 専修念仏2 内 容: 法然浄土教の思想史的意義 教科書・指定図書
第29回	テーマ(何を学ぶか): 日蓮の法華教学 内 容: 日蓮の唱題思想、政教一致思想 教科書・指定図書 末木文美士『日本仏教史』第Ⅳ章
第30回	テーマ(何を学ぶか): 禅、全体のまとめ 内 容: 宋朝禅の導入と栄西・道元 現代日本人と仏教 教科書・指定図書
試 験	期末レポートの提出。試験は実施しない。